

◇ 同好会『歴史を歩く』11月9日(木) 晴れ 参加者22名

今回は赤レンガ造り(とてもモダンな大正の建造物)の

我が国最初の近代下水処理場と近辺の史跡を巡りました。



探求心旺盛な22名が集合したところで、池袋から一駅の大塚下車、ここで都電荒川線(東京で唯一の路面電車)に乗換え約40分ゆられて、荒川2丁目で下車、徒歩3分程で処分場に到着。

★旧三河島汚水処分場
施設の方の出迎えを受け部屋に入り映像等による仕組みや歴史を聞きました。その後3班に分かれ移動しながら係り



の方の説明を受けました。地下施設に入る時には皆ヘルメットを着用(ここでヘルメットデビューした方も多かったのでは?)ここは近代下水処理場として高い歴史的価値が認められることから平成19年に国の重要文化財(建造物)に指定されています。建物が旧態を保ちつつまとめて残っており、近代下水処理場を知る上でも重要な文化財となっています。

★ 円通寺

処分場見学を終えここから徒歩組と電車組に分かれ三ノ輪駅集合。沿線のバラが目を楽しませてくれました。徒歩10分で円通寺へ。幕末、上野戦争後戦死した者を供養したのが円通寺の住職という縁で、上野寛永寺の黒門が移設されました。そこに残る弾痕は戦争の激しさを今に伝えています。

さて、お待ちかねのランチタイムは円通寺向かいの「木曾路」、和定食かすき焼き定食のどちらか。向かいの方のすき焼き定食の肉が美味しそうでこっちにすれば良かったとは“後の祭り”もちろん和定食も美味しかったです。別の機会に頂くことにいたしましょう。

★ 浄閑寺

安政2年の大地震で犠牲になった新吉原の遊女達が投げ込むように葬られたことから「投込寺」とも呼ばれているお寺です。遊女の悲しい生涯に思いを馳せた「永井荷風の詩碑」があります。

★ 回向院

吉田松陰など幕末の志士、鼠小僧治郎吉、高橋お伝などのお墓があります。杉田玄白らがここで刑死者の解剖見学をきっかけに「解体新書」を翻訳したことから近代医学発祥の地として記念碑が建てられました。

★ 延命寺、小塚原刑場跡

明治時代初めに廃止されるまで磔(はりつけ)、斬首などが執行されていました。「首切地蔵」がここに眠る人々の霊を見守っています。



3時ごろに今回の探訪は終わりました。今回バラの香りも期待したのですが今年の寒さのせいもあったのでしょうか。それでも沿道のあちらこちらに赤や黄のバラが、私達の来るのを待っていたかのように咲いていて嬉しかったです。今回は上着もいらぬ程の「小春日和」に恵まれました。皆さんお疲れ様、ご参加ありがとうございました。

<報告：稲辺一子>

11月同好会 スナップ写真



木曽路「和定食」



木曽路「すきやき定食」

